光晴会病院化学療法委員会
2024 年 3 月 1 日改訂

EC 療法

患者番号:　　氏名:　　性別：　　年齢:

がん種（適応）	乳癌		
開始年月日	年　　月　　日		
1 コース期間	21　日間		
体格	身長　　cm　　体重　　kg　　体表面積　　㎡		
嘔気・嘔吐リスク	高度	制吐剤	**アロカリス注** **+パロノセトロン注** **+デキサート注 9.9mg** **+デカドロン錠 4mg2 錠 2×（day2-3）**
特記事項	**【エピルビシンの投与量について】** **標準：100 mg/㎡　減量対象者：75 mg/㎡　高齢者：60 mg/㎡** **【ペグフィルグラスチムの投与について】** **ペグフィルグラスチム注 3.6mg の投与を推奨しますが、患者負担が増える事を説明したうえで決める（疼痛時セレコキシブ 100mg などを使用）**		

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
エピルビシン	mg（100mg/㎡）	15～30 分	Day1
エンドキサン	mg（600mg/㎡）	1 時間	Day1

【処方が必要な内服薬】

デカドロン錠（4）2 錠 2×朝昼食後　　2 日分　（翌日開始）

□HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
□HBs 抗原(−) → □HBs 抗体(−)and HBc 抗体(−)
□HBs 抗体(+)and/or HBc 抗体(+) → □HBV-DNA 定量(−) → 3 ヵ月毎 定量
□HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン＿＿＿＿＿＿＿＿